

中守破離



令和6年11月11日（月）第23号

学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク）

広島県では、毎年11月1日を「ひろしま教育の日」と定め、教育のさらなる充実と発展のために様々な関連行事を行っています。また、「ひろしま教育の日」の前後を「学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク）」とし、全県的に学校を開放し、開かれた学校づくりを一層推進しています。

本年度は11月1日（金）から7日（木）を「学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク）」とし、仁方中学校では11月5日（火）に授業参観・進路説明会・学級懇談会を行いました。各学年とも日頃の学習の成果を、保護者の皆様へ発表させていただきました。

1年生は、異学年交流活動として仁方小学校2年生対象に行う「絵本会」の取組を披露しました。保護者の皆様を対象に、絵本はもちろん自作のグッズも使いながら楽しく読み語りをしていました。



2年生は、呉市キャリア・スタート・ウィーク（3日間の職場体験）の発表を行いました。お世話になった事業者ごとに職場体験で学んだことや感じたこと、今後頑張りたいことなどを発表しました。



3年生は、総合的な学習の時間「まちづくり～ものづくり・ひとづくりの知識を元に、『防災に強い仁方』を創り上げる！～」の单元において、防災について学習したことを発表したり、自作した学習教材を紹介したりしました。



「学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク）」の期間だけでなく、学校教育に対する理解と関心を深め、信頼される学校づくりを推進するためにも、いつでも仁方中学校にお越しいただき、生徒や先生、学校の様子を見ていただきたいと思います。

見に来ていただくことは、生徒たちを家庭・地域全体で育てていくことにもつながります。今後も貴重なご意見等をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

薬物乱用防止教室を行いました

～学校薬剤師 平本 敦大 様をお迎えして～

10月25日（金）、2年生の保健体育科の授業において、薬物乱用防止教室を行いました。薬物乱用防止教室は、中学校や高等学校では毎年1回行うことが義務付けられており、大変重要な授業です。講師には、学校薬剤師である平本 敦大 様をお迎えしました。

最初に「大麻グミ」など最近のニュースやたばこの影響について学習しました。また、危険ドラッグは、何が含まれているのか分からず、どんな症状が出るのかも分からない大変危険な物であり、広島でも問題になっていると紹介されました。更には、市販の風邪薬などを過剰に服用する、いわゆる「オーバードーズ（OD）」も大変危険な行為であり、絶対にしてはいけないと指導されました。

薬を間違った使用方法で服用してしまったり、一度でもしてしまったり、それは「薬物乱用」であり、初めの一回をいかに防ぐのかにすべてかかっていると言われました。

当然、違法な薬物に手を出すことは絶対にいけません。最も重要なことは、薬に関する正しい知識を身に付け、正しく使用することです。将来自分にも関係するかもしれないという当事者意識をもち、今回の学習を忘れないでほしいと思います。

